

デジタル技術を活用した安全かつ能率的な事務の推進体制の構築

SDGsの ゴール・ 目標	16 平和と公正を すべての人に
---------------------	------------------------

実施項目名	アナログ規制の点検・見直し	所管課	行政管理課・ デジタル社会推進課
主な課題	行政や社会、産業の基本的な構造を形作る法制度やルールは、多くがデジタル技術の登場以前に確立され、アナログ的な手法を前提としている。社会全体のデジタル化を推進するため、「アナログ規制」を見直す必要がある。		
取組内容	国が「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」等で示した代表的な7項目のアナログ規制(目視、実地監査、定期検査、書面掲示、常駐・専任、対面講習、往訪閲覧)について、対象となる条例等の洗い出しと規制の見直しを行う。		
取組による効果	デジタル化を活かした規制の見直しにより、行政コストが削減され、業務の効率化と住民サービスの向上につながる。地域においては、アナログ規制がデジタル技術を前提としたものに変わることで、最新技術の導入・投資の推進が期待できる。		
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	規制の見直しにより、行政手続きが迅速化・簡素化し、行政サービスの「質」が向上する。		

■ 具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 アナログ規制の 点検・見直し	—	→ 推進体制の 構築、法令 の点検	規制の見直し		→	県関係の法令等における7項目のアナログ規制の見直し
		見直し対象 規制の洗い 出し				

■ 成果指標

成果指標名	基準値 (R5)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 見直した規制の件数(累計)	660(R5)	—	300	600	600

【参考】これまでの主な取組

・令和5年度には県条例等の洗い出しを行い、約660の見直し対象となる規制を抽出した。